

風土特性を考慮した公園施設計画について

岐阜大学大学院 学生員 ○ 稲田 眞江

岐阜大学工学部 正会員 秋山 孝正

1 はじめに

公園は日常生活のうらおいを創り出す空間およびレクリエーションを楽しむ施設空間として知られている¹⁾。そして公園は多様な機能を持つが、周りの空間の様相や、質の違いによりその公園に求められる機能も異なる。人工的な都市空間と自然豊かでのゆとりのある都市空間では公園の意義も異なる。特に過密な都市空間においては心身の安らぎとしてのオアシスが求められ、また地域性や時代性を取り入れた個性的な空間が求められるからである²⁾。このようなことからこれまで地域の深層心理を理解し、都市計画に有効に利用する風土工学が提案されている³⁾。本研究ではこうした背景を踏まえて公園計画に対して風土性を導入する事を検討するものである。このとき公園計画の中でも施設計画は直接市民に関係する具体的な課題である。そこで本研究では公園施設計画における風土特性の導入についての検討を行うものである。

2 風土を考慮した公園計画

2.1 公園計画の一般的手順

一般的な公園計画においては、上位計画等に基づき予定対象敷地における公園の機能やコンセプトなどを明確にされる。その時、公園のイメージとそれを規定する主要な施設について各項ごとに検討し、公園整備の方向性が決定される。このようなことから本研究で想定する公園計画手順は、対象地域の選定の後に、[1：公園規模設定][2：設計コンセプトの導出][3：設置施設計画][4：ゾーニング計画][5：動線計画][6：自然条件の利用計画][7：施設配置計画][8：景観・意匠計画]としている。

2.3 風土の導入についての検討

ここでは現代の公園計画にも風土の導入が望ましいことから本研究で考える風土の定義を検討する。

表-1 公園計画に関わる風土の要素

計画項目	風土特性分類の考え方	風土の要素
1) 公園規模設定	園内に山や川、人の考え方や文化などを反映させるため、風土の要素が数多く取得可能な環境の設定	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系
2) 設計コンセプトの導入	地域の特色や地形、住民のイメージが風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業
3) 設置施設計画	地域の人の考え方や歴史、文化、地形的な要素が風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業
4) ゾーニング計画	地域の文化や歴史、自然が風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業
5) 動線計画	地域の自然や人の交流、歴史が風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業
6) 自然条件の利用計画	既存の地形や生態系、季節などが風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業
7) 施設配置計画	地域の自然や人の交流、歴史が風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業
8) 景観・意匠計画	文化的なデザインや景観、地域色が風土の要素の地形、気候、歴史、景観、生態系、芸術、教育、民俗、食文化、産業などに影響している	・気候 ・地形 ・地質 ・歴史 ・景観 ・生態系 ・芸術 ・教育 ・民俗 ・食文化 ・産業

たとえば土木計画における風土とは、佐佐木らの「その地域の固有性」があげられる⁴⁾。また和辻による「その地域の気候、地形、地質、景観などの総称」とされることもある⁵⁾。本研究では「自然のなかでの人間の生活に影響を与える全ての環境」を風土と考える。これより各公園計画プロセスにおける風土を表す要素を整理したものが表-1である。ここでは各計画プロセスの検討項目に関係する風土特性をとりあげ具体的な表現要素を提案した。たとえば地域文化についても計画項目の相違によって導入方法を変化させ、さらに地域風土を考え、その複数の側面を考えた。

3 風土を考慮した施設計画

3.1 都市公園における一般的施設計画内容

本研究では対象公園を都市公園の中でも広域公園とした。風土特性を考慮した公園施設計画の参考とするため、より多くの施設状況を検討しようとしたものである。なかでも施設種類の多い広域公園を対象公園とした。

次に著者の視点から公園施設計画に求める心理的影響と都市公園法からなる公園施設計画項目との関係を表-2に示す。ここでは施設計画に求める心理的影響を充たす各公園施設内容を提案した。たとえば開放感についても公園施設内容には複数挙げられ、一つの心理的要求を充たすために多種多様な施設表

現方法が存在することが考えられる。また施設内容には形、色彩、材料などがあり、それぞれ利用、機能、管理、美観、経済性、安全性等検討し計画される⁶⁾。

3.1 既存の公園施設計画における風土特性の検討

ここでは既存の公園施設計画より風土特性の具体的内容を検討するため対象公園を選定した。本研究では「花フェスタ記念公園」(岐阜県可児市)を対象とした。この公園の基本構想はシンボル・花と郷土の森・自然観察・活動の4つである。数多くある施設計画の中でも修景施設計画に属す3つの施設を取り上げ、著者の視点から公園施設計画と風土特性の関係を表-2に整理した。風土が見受けられる点について以下に列挙して説明する。

- 1) 東西のグラデーション花壇：岐阜県は古来より豊かな自然に恵まれ、「飛山濃水」と言われたとされる⁷⁾。この花壇は岐阜県の風景を飛騨地方と美濃地方と大きく別けて2地域に別れた岐阜県を的確に表現しているとされ、演出から岐阜の長良川や金華山を連想させ、安定感、水々しさを与える。
- 2) 霧のプレリュード：岐阜の長良川から受ける水の活気、潤い、開放感が感じられる。
- 3) 花いかだの池：水面に岐阜県内の間伐材を利用した花いかだと花で飾った鵜飼船を浮かべ、岐阜のイメージを演出している。周囲の緑との調和が落ち着き、静寂さを与える。いずれにも共通して岐阜の風土特性として河川の水が表れている。長良川は古来より鵜飼いに代表されるように、アユをはじめ水産業が盛んな河川でもあり、生息する魚種も日本有数の河川となっているとされる⁷⁾。岐阜は海に面さない地形により河川の水による生活空間が育まれた事で岐阜の特色の一つになったと考える。

4 おわりに

表-3より既存の公園施設計画では風土特性を表現する手段として風土の要素を基とした方法がある事も実証された。このように公園施設計画に風土性の導入は人に安らぎを与え、公共施設に対して愛着を感じさせるような心理的影響ももたらすと考えられる。

表-2 都市公園法による公園施設計画内容

心理的影響	公園施設内容	計画項目
・開放感、すがすがしさ等	園路・広場	園路広場計画
・和やかさ、潤い等	植栽・花壇・噴水	修景施設計画
・落ち着き等	休憩所・ベンチ	休養施設計画
・面白さ、満足感等	ぶらんこ・滑り台・砂場	遊戯施設計画
・充実感等	野球場・陸上競技場・水泳プール	運動施設計画
・充足感等	植物園・動物園・野外劇場	教養施設計画
・安心感等	売店・駐車場・便所	便益施設計画
・安定感等	門・柵・管理事務所	管理施設計画
・和やかさ等	展望台・集会所	その他施設計画

表-3 既存の公園施設と風土特性の関係

施設名	コンセプト・内容	風土特性	心理的影響	風土要素
1) 東西のグラデーション花壇	岐阜を構成している「山」「川」の風景を演出した花壇	「飛山濃水」と呼ばれる岐阜の長良川の演出	・安定感 ・みずみずしさを与える	・地形 ・気候 ・歴史 ・景観
2) 霧のプレリュード	人工的に霧が発生する花と水の芸術的カスケード	岐阜の長良川から影響を受ける水の演出	・活気 ・潤い ・開放感を与える	
3) 花いかだの池	水面に岐阜県内の間伐材を用いた花で飾った鵜飼船を浮かべ、緑との調和を図った景観構成	長良川における鵜飼いの風景の演出	・落ち着き ・静寂さを与える	

今後の課題としては対象公園を増加し各公園ごとの風土特性導入例を指摘する。これより多数の公園からの風土特性導入様式を考案し、地域性に優れた風土特性の現れた公園を検討する。しかし本研究の対象公園が広域公園に属すため、地域の風土性が可児地方限定ではなく岐阜全土となっている。このことは本研究での風土性をその地域からなるものと考えていることから、可児における公園計画としては可児の風土性が表れた計画が望ましいと考える。よって今後の対象公園選定時には今回の反省をふまえ検討を行う。また公園計画においての風土と人との心理的関係の検討を行う。

【参考文献】

- 1) 加藤 晃；都市計画概論、共立出版株式会社、1997、p70、p188、p190
- 2) 川尻 幸由；過密都市における2つのオアシス、明日へのJCCANo. 197、1997、p58
- 3) 秋山 孝正；風土工学からみた地域計画手法について、建設省中部地建文化アセスメント研究会報告書、H8
- 4) 佐佐木 綱、平峯 悠、佐藤 吉昭、田中 喬、廣川 勝美；風土分析と地域計画、第54回関西地区大学合同セミナー記念、S60、p24
- 5) 和辻 哲郎；風土 人間学的考察、岩波書店、1935
- 6) 公園・緑化工事積算研究会；公園・緑化工事の積算、(財)経済調査会、H8、p56、p57
- 7) (財)リバーフロント整備センター；多自然型川づくりの取り組みとポイント、株式会社山海堂、1998、p21